

平成30年度第1回 習志野市産業振興審議会 会議録

○日 時 平成31年1月29日(木) 午後6時30分～午後7時05分

○場 所 市庁舎5階5-3会議室

○出席者

【委員】 高橋 正英、鈴木 和弘、織戸 淳也、渡辺 勇、福井 正樹、
市川 隆子、川村 浩司、西澤 一友、久保田 宗一郎、陶 良、長谷川 丈雄、
荻野 みゆき、前田 陽子

〈欠 席〉 高見 賢一、鎌田 元弘

【事務局】 片岡 利江(協働経済部次長)
根本 勇一(協働経済部副参事 産業振興課長事務取扱)、
忍 貴弘(産業振興課主幹、商工観光係長事務取扱)
藤島 明子(農政係長) 千葉 義則(金融労政係長)
米倉、樋口、清川(産業振興課担当職員)

【商工会議所】 葛生 正文(中小企業支援室主任主事)
村富 一仁(中小企業支援室主事)

【傍聴人】 なし

1. 議題

- (1) 平成30年度における産業振興関係事業の実績報告
- (2) 質疑・応答
- (3) その他

【会議の概要】

1. 次長挨拶

2. 事務局職員紹介

【議題】

- (1) 平成30年度における産業振興関係事業の実績報告について

【事務局】

習志野市産業振興計画施策体系に基づき、平成 30 年度の実績を報告（資料 1）

1. 中小企業の経営支援
2. 商業振興
3. 工業の振興
4. 都市農業の振興
5. まちづくり観光の振興
6. 新たな産業育成と産学民官連携の推進
7. 勤労者支援と新たな人材活用

【質疑・応答】

【長谷川委員】：就職支援について、どの程度就職が決まったのか詳細人数が知りたい。

【事務局】：ふるさとハローワークによると、利用状況につきましては、29 年度現在で利用者数が、9,090 人、その中で、相談されている方が 4,392 人となっており、就職されたかどうかの実績についてはまだ資料が手元にない状態にある。

【長谷川委員】：芝園、茜浜の埋め立て地について、その辺の地域に対しては、産業振興は行っているのか。住工であるとか、倉庫であるとかニュースで聞いたのですが産業振興課で何か担当しているか。

【事務局】：芝園、茜浜の方面については、そこについては住工混在、住宅と工業を分ける分野であちらは工業系の部門なのですけれども、時代の流れからか、交通の利便性から物流倉庫が増えております。補助金という形で、工業支援という形で工団連という組合がございますので、その方達に対してセミナー・研修に対しての支援を行っております。千葉県で言う「企業誘致」という場面になりますと、ご存知だと思いますが、習志野市は現在空いている土地がないので、「企業誘致」という形では行えない状況である。

【長谷川委員】：後でも良いのですが、空き家の問題などがあり、袖ヶ浦でも空き家が出ており、習志野市内でも外国人が雇用され、その方達が住んでいると聞きます。その様

な方達にも習志野市に住んでいただきたいと思うのですが、企業が住む場所を用意すべきなのか、その辺は産業振興課なのか、またどういった部署に聞けばよいのかなと思うのですが。

【事務局】：「工場や倉庫で働く外国人の方にも習志野市に住んでいただきたい。」ということですか。

【長谷川委員】：そういうわけではなく、空き家問題について日本人の方も、市内で働くのであれば、その企業側が社員、働く人に習志野に住んでもらえるようにするのは、産業振興課なのか、またどの部署に伺えばよいのか。しかしながら、市内で働いている人という部分では産業振興課の関わりも事実あると思いますので。

【事務局】：まず 1 点目といたしましては、社宅、官舎といった形で企業さんに（空き家を）お使いいただくという方法もあるかと思います。そこには、その建物、土地の所有者の方がいます。そこにどういった形で私達、行政側が入っていけるかという話になりますと、多岐にわたる部分があります。一つは、私共、協働経済部の担当部署では、防犯安全課の方での話の進め方もあるかと思います。あとはそれこそ都市環境の部署との協議も必要になってくるかなと、思いますが、当然ながら（建物・土地の）所有者さんと（社宅として）それを求めている企業者さんとの方で顔合わせをして、具体的な相談をするという機会があれば私共も間に入ってご紹介等の機会があればその場面でご相談をさせて頂きたいと考えています。

【高橋会長】：その他ご質問はございますか。

【前田委員】：地下食物工場について（レタス）新しい手法で実際に私も、自身が行っている事業の関係で寄付としていただいたことがあって、とても美味しく、そこでこれからの習志野の農業振興についてどう考えていくのか。農作物が去年は天候による被害が大きかった。そんな中で、習志野市内において天候に左右されずに作物がコンスタントに生育している（新習志野地下野菜工場）伊藤電機さんがノウハウを多分、売っていく感じかなと思うのですが、現実に成功していらっしゃるし、習志野市の農業の将来を考えたときに農業の振興について、このような良い見本・手法を生かして振興ゆくことは考えていますか。

【事務局】：今の習志野市では、農家さんが実際に畑を耕して、作物を栽培されている現状の農家さんに対して支援しております。できる限り区域も都市化を進める街、農業地として残していく土地というのを明確にしておりますので、市内の農地をまずは有効に活用していく考えでおりますが、この先いろいろなことが起こ

るか、(新習志野地下野菜工場は) まだ生産ラインに載っていないという事も聞いております。農家の未来、どのくらい先になるのかまだ分かりませんが、このような手法(新習志野地下野菜工場のような)もあるのではと思います。

【高橋会長】:他に質問ございますか、無いようですので、続きまして、「3. その他」について事務局からご説明お願いいたします。

【事務局】:それでは、ご説明いたします。前回も少しお話させていただきましたが、こちら習志野市産業振興計画の期間が平成27年から平成31年度の計画であります。来年度で、終わりとなります。平行してその次の年度から新たな期間の計画となります。そこで計画改定の準備として、春先を目途にたたき台の方を皆様にお示しさせていただき、その後、諮問、答申をいただいて、次の産業振興計画を立て、皆様に意見を伺い、新しい計画を策定しようと考えております。現在の習志野市の基本計画につきましては、前期が終わり後期の策定に入っておりますが、今の時代に沿ったものが出来ればと考えております。

【高橋会長】:ありがとうございました。それでは、総括してご質問等ありますか。なければ最後に事務局より連絡事項をお願いします。

【事務局】:それでは、繰り返しになりますが、皆様に次期産業計画の策定のご協力お願いいたします。また今回は、年度も残り少なくなっからの第1回目の産業審議会となりましたが、次回からは、新しい年度で春先を目安に前年度の報告が出来ればと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

【高橋会長】:以上をもちまして、平成30年度 第1回 習志野市産業振興審議会を閉会いたします。皆様、どうもありがとうございました。

議事録署名人_____

議事録署名人_____